所長あいさつ

こんにちは。袋井土木事務所長の加納です。
早いもので、年の瀬となりました。
今回は、今年の取り組みについて振り返ってみたいと思います。

１つ目にネットワーク形成についてです。
４月には新東名高速道路（御殿場 JCT～引佐 JCT 間 L=162km）が開通しました。
当地域においても、森掛川インターチェンジが設置され、また、11 月には国道 1 号磐田バイパスの４車線化が完成し、地域間のネットワークの形成・強化が図られました。

２つ目に地域内交通についてです。
6 月には県道袋井春野線の三倉バイパス（森町)、9 月には同じく森川橋（森町）が完成し、地域内交通の快適性、利便性が向上しました。

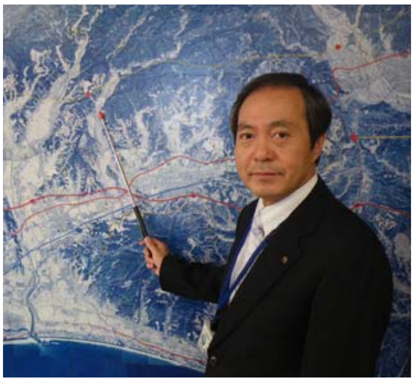
３つ目に災害対策についてです。
６月の台風４号、８月の豪雨、９月の台風 17 号といった異常気象により、管内の県道４箇所及び御前崎海岸において被害が生じましたが、住民生活・社会活動に支障を来さないよう、早期の復旧を目指し、災害復旧事業を進めています。
掛川市上西郷地内の県道掛川川根線では、路肩が決壊し通行止めが生じましたが、仮道を設置することにより、早期に通行止めを解除しました。

４つ目に津波対策についてです。
第４次地震被害想定（平成 25 年６月頃公表予定）による地震動や津波高等を踏まえ、県として新たな整備方針を策定するまでの間は、実施可能な対策として、「ふじのくに津波対策アクションプログラム（短期対策編)」に基づき対策を進めています。
新野川・筬川・中西川（御前崎市)、竜今寺川（掛川市）で堤防の嵩上げを、太田川（磐田市)、弁財天川（掛川市）で堤防の液状化対策を進めています。

最後に地域との対話についてです。
5 月～6 月に「県建設事業等市町負担金に関する円卓会議」を実施し、管内市町長と今年度行う事業についての意見交換を行いました。
8 月には満ち・充ちミーティングを開催し、掛川商工会議所及び菊川市商工会の皆様とみちづくりについて、幅広く意見交換を行いました。
12 月には 2 回目の「円卓会議」を行い、管内市町長と来年度行う事業について意見交換を行いました。
今後も各地域の方々と積極的に話し合いの場を設け、地域のニーズに応えた社会資本整備を進めていきたいと考えています。

来年６月頃には、第４次地震被害想定に基づいた新たな地震対策・津波対策アクションプログラムが策定される予定となっています。
このアクションプログラムに沿い、引き続き、道路や河川・海岸・急傾斜などの地震津波対策に取り組み、地域の「安全・安心」社会の実現を目指していきたいと思います。

それでは、皆様もよいお年をお迎えください。



平成 24 年 12 月　静岡県袋井土木事務所長　　加納　章